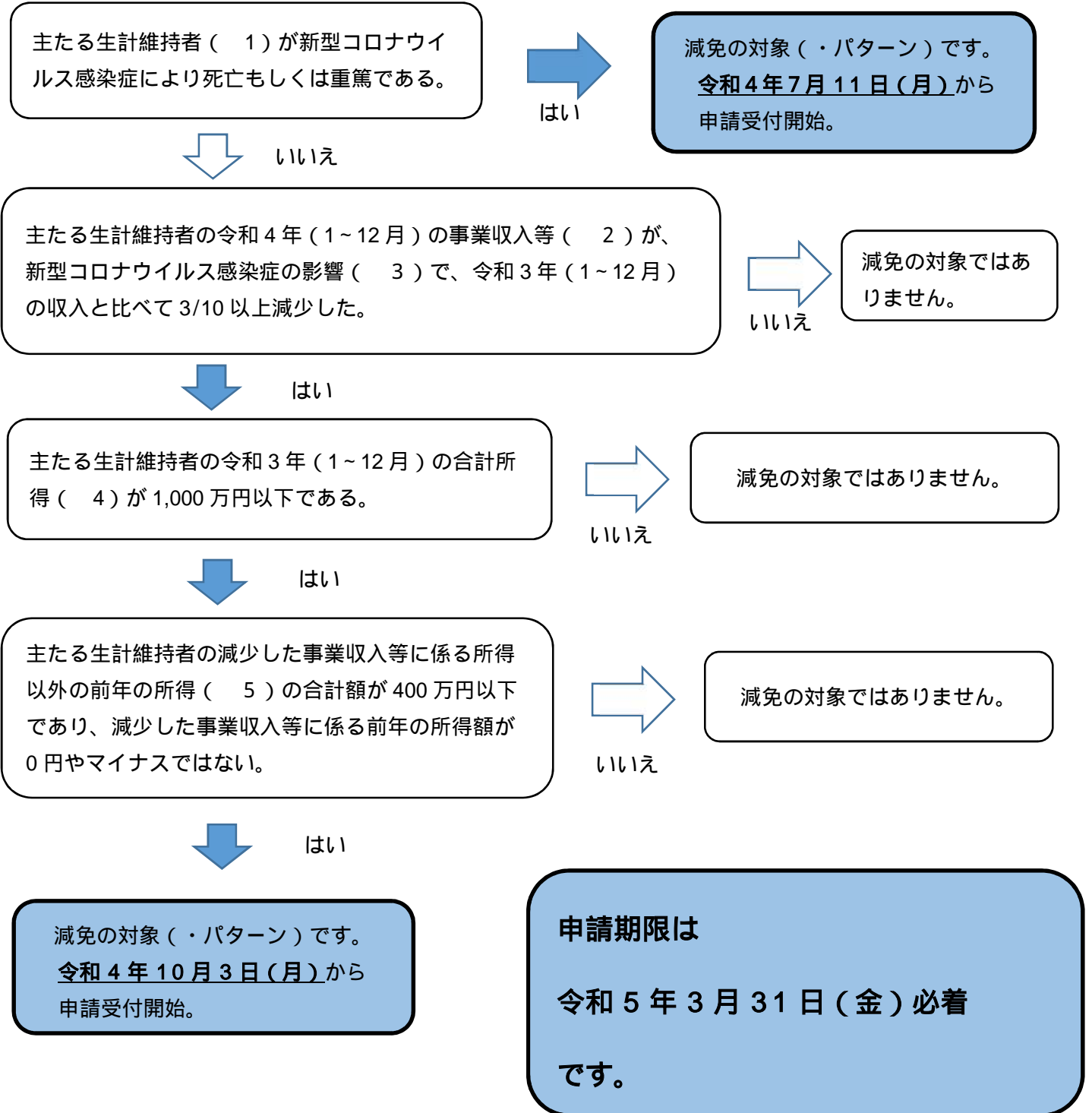


新型コロナウイルス感染症の影響による減免の申請を考えている世帯主の方へ（令和4年度課税分）

減免申請にあたり、どのパターンに当てはまるかを下のフローチャートで確認し、裏面の用語解説・注意事項をよくお読みの上、世帯主の方が申請ください。申請後、書類審査のうえ減免の該当・非該当を決定し通知します。申請いただいた内容の審査にあたり、電話等で内容確認を行うことがあります。また、決定まで時間がかかりますのでご了承ください。また、減免額算出については別途基準がありますので、必ずしも全額が減免になるわけではありません。



【用語説明】

- 1 主たる生計維持者： 原則、住民票上の世帯主（国民健康保険に加入していない世帯主（以下「擬主」という。）を含む）となります。ただし、国民健康保険加入者（以下「国保加入者」という。）のなかで、実態として他にその世帯の生計を維持している方がいる場合は、申し出により世帯主以外の方が主たる生計維持者として認められる場合があります。
- 2 事業収入等： 給与収入、事業収入、不動産収入、山林収入のいずれかの収入となります。
- 3 新型コロナウイルス感染症の影響： 令和4年1月以降で新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合が対象となります。影響した内容（時期及びその経緯等）を具体的に記載いただきます。また、必要に応じて、書類の提出をお願いしたり、勤務先等へ内容確認を行う場合があります。
- 4 令和3年の合計所得： 前年の地方税法第314条の2第1項に規定する総所得金額及び山林所得金額並びに国民健康保険法施行令第27条の2第1項に規定する他の所得と区分して計算される所得の金額の合計額。国民健康保険税を課税するときの「総所得金額等」に当たります。
- 5 事業収入等に係る所得以外の前年の所得： 令和3年1月～12月において、給与収入、事業収入、不動産収入、山林収入のほか、利子所得、配当所得、雑所得、譲渡所得、一時所得、退職所得などの合計から、減少が見込まれる事業収入等の所得のみを引いた所得金額のことです。

【注意点】

- 他の減免等（旧被扶養者の減免、非自発的失業による軽減、東日本大震災減免等）との併用はできません。
主たる生計維持者が旧被扶養者の減免・非自発的失業による軽減に該当する場合は、旧被扶養者の減免・非自発的失業による軽減が優先されますので、減免できません。なお、非自発的失業による軽減を受けていた場合でも、給与収入以外の事業収入等の減少があった場合は併用できる場合があります。
- 減免の対象となる保険税は、令和4年7月1日から令和5年3月31日までの間に納期限が設定されている令和4年度分の保険税です。
- 世帯の国保加入者全員（勤務先や年金機構から支払額が報告されている場合や市内在住の親族に扶養されている方は除く）が申告をしていることが条件となります。

【申請に必要な書類】

- 1 . パターン共通：国民健康保険税減免申請書
- 2 . 該当する届出書をご使用ください。なお、パターンについては、給与収入用と事業収入用を両面で印刷していますので、ご記入の際は間違えないようにしてください。
パターン：減免申請に関する届出書
パターン：減免申請に関する届出書
添付書類については各届出書に記載しています。

【申請書提出先】下記まで郵送ください（FAX・メールでは受け付けておりません）

〒192-8501 八王子市元本郷町3-24-1 八王子市保険年金課資格課税担当
電話 042(620)7236（本庁舎1階13番窓口）